

First Step Program

経済学部2年 漆崎知菜美

行き先 フィンランド

期間 2012年8月25日～
9月9日

動機 留学に行ってみたくはいるけど、一人
が不安だった、魅力的なプログラム内容
(特に訪問国)、プログラムの趣旨が自
分にぴったりだった



**お
金**

・費用≫ プログラム費：20万円
・レート：1ドル=104円

《スケジュール》

日付	内容	日付	内容
8/25	移動(新千歳~成田~フランクフルト ~ヘルシンキ)	9/2	パツンツリ国立公園ビジターセン ター訪問、アメジスト鉱山見学
8/26	ヘルシンキ市内視察、自由課題活動	9/3	ラップランド大学にて新規留学生 入学式・オリエンテーション・歓迎 会参加
8/27	ヘルシンキ大学にてキャンパスツ アー・北大紹介プレゼン・各種講 演・現地学生との交流会	9/4	教員養成学校訪問/環境と開発に関 する講義と討論
8/28	ヘルシンキ大学にて日本の学生生 活紹介プレゼン・各種講演・グルー プ討論・北大関係者と交流会	9/5	森林化学センター訪問、学術論文の 書き方についての講義、新規留学生 /教職員との歓迎会参加
8/29	在フィンランド日本国大使館訪問、 JETRO の講演	9/6	ロヴァニエミ周辺の観光施設視察、 北大紹介プレゼン
8/30	UNU-WIDER 訪問、アアルト大学	9/7	北極圏センター訪問

	学生との交流、ヘルシンキ経済研究センターのプログラムに係る講義		
8/31	(株)UPM キュンメネ訪問、Rocla Oy 訪問	9/8	移動 (ロヴァニエミ~ヘルシンキ~ロンドン~)
9/1	移動 (ヘルシンキ~ロヴァニエミ)、フィンランド人教員とのフィンランド料理作り	9/9	移動 (ロンドン~成田~新千歳)

《プログラム前後のスケジュール》

	プログラム前	F S P	プログラム後
スケジュール	2012年6月 FSP 申請 7月 FSP 面接 7,8月 オリエンテーション (計4回)、プレゼン準備 8月25日 出発		

はじめに

こんにちは、第2回 First Step Program (以下 FSP) 参加者の漆崎知菜美と申します。今や行き先も増え、毎年回数を重ねている FSP ですが、縁あって体験記を書くこととなりました。FSP ってどんなプログラムなんだろう? という人は、是非 FSP 募集説明会に参加してほしいと思います。この体験記ではプログラムの詳細な紹介よりも、参加の「その後」に少し重点を置いています。

FSP というプログラム

FSP は、約2週間のプログラムです。留学のように単身ではなく、参加者全体のグループ行動です。現地の協定校である大学を訪問 (現地学生との交流・講義への参加)、企業のトップとのお話や各種見学など、貴重な体験ができます。留学に行ってみたいけど一歩が踏み出せない、海外に興味があ



って旅行じゃ物足りない、将来はグローバルに活躍したい、普段聞けない話が聞いてみたい、そんな人たちには FSP に参加することをオススメします。

私が参加してみて強く感じたことは3つあります。

まず、とても充実したプログラム内容です。絶対に他のプログラムにはない、旅行や留学だけでは経験できない、そんな内容ばかりでした。留学に比べると広く浅い経験なのかもしれませんが、自分次第でいくらでも深く入り込むことができます。事前学習や現地での積極性・帰国後の事後学習などが、活かしやすいプログラム環境が整っています。2週間では満足しきれないほどの内容に触れることができる、とても深みのあるプログラムだと思います。

そして、その充実した2週間に欠かせなかったのが、一緒に参加したメンバーの存在でした。私にとっては初めての海外渡航だったので、単身ではないというのはすごく心強かったです。心強いだけではなく、グループ行動からはたくさんのことを学ぶことができました。グループのリーダー（現地では北大紹介プレゼンなど、3つのグループに分かれてプレゼンを行いました）としての立ち振る舞いを考えさせられたりもしましたし、何よりも大きかったのが、毎日同じ話す相手がいるということでした。今もっている悩みを相談したり、将来の夢について話したり、その日のプログラム内容について議論したり。いつでも話すことができるうえに、日をまたいで話が盛り上がることもあったくらい、メンバーとはたくさん話をしました。たくさんの価値観を共有し合うことで、より一層プログラムの深みが増した気がします。

最後に、この2週間は自分と向き合うとても良い機会でした。私は留学に行きたいと思っていましたが、その決心が固まっていなまま FSP に参加することになりました。将来やりたいことははっきりとあったわけではなく、参加して何か見えてくるものがあればいいなと思っていました。実際にプログラムを終えて、私は交換留学に申し込む決意をしていましたし、将来自分が働くうえで軸となるものを見つけていました。それは、充実したプログラムの内容と、一緒に参加したメンバーとの関わりの中で毎日自分と向き合うことで築けたものでした。自分がいったいどういうことを重要視する人間で、何を良いとして何を良くないと感じているのか、留学に行けば何が自分にとってプラスになるのか、本当にたくさんのことを考えさせられました。FSP での2週間は、大学生活の中で一番自分と向き合っていた2週間だったと思っています。

FSP を通して自分の中で変わったこと

一番大きく変わったことは、考えたことや感じたことをどんどん外に出そう（＝アウトプット）と思い始めたことです。それまで私は、あまり自分の考えていることを人に伝えたりしないようにしていました。しかし、FSP のメンバーは私が話しだすまで気長に待ってくれましたし、私の考えを色々と聞き出そうとしてくれました。最初は言葉にすることが大変でしたが、アウトプットすることがとても良いことだと思えるようになりました。

頭の中で考えるだけでなく、言葉に表現することで自分の中での考えがより明確に確立していくということも知りました。色々な人の考えと交流することで、より良い答えが見つけれらるんだと思うことがとても多かったです。自分の存在が、誰かにとって何らかのプラスの影響になり得るということが実感できたことで、どんどん考えたことや感じたことを伝えていこうと思いました。(以前だったらこの体験記も書いていないと思いますが、自分の体験記で誰かが FSP に興味を持ってくれたりしたら、と書いています。)

FSP を終えて、その後

FSP から帰って来て、まずは交換留学への準備を始めました。TOEFL iBT を受験したり、国際交流科目を取ってみたい、海外の大学を色々と調べて。日本人が少なく、これからの人生で旅行先として選ばなさそうな国で、母国語が英語じゃない国で、経営系の授業が豊富にある大学を、ということでエストニアのタルトゥ大学を志望することにしました。エストニアという国にとっても興味を持ちました。この話は長くなってしまうので気になる人は調べて欲しいのですが、中世の街並をそのまま旧市街に残している一方で、インターネットを利用した電子投票・e-ガバメントなどに特徴付けられる IT 立国であることなど一度行ってみたいと思っていました。交換留学を申し込んで、北大内での面接（英語）を受け、なんとか留学に行けることになりました。しかし、当時の英語の成績が思わしくなかったことと、この後で紹介する STUDY FOR TWO という学生団体との出会い、経済学部の中で一年を通して頑張りたいと思えるゼミに入れたことから、交換留学は中止することにしました。あの時の英語力のまま留学に出発していたら、きっと英語に必死で勉強にはついていけなかった気がします。留学に行ってみたかった気持ちはまだありますが、それ以上に今は、こっちでの活動を精一杯やり通せた満足感のほうが大きいです。良かったのではないかと思います。今でも、この選択は間違っていなかった、留学準備期間も無駄ではなかったと思っています。

STUDY FOR TWO という学生団体は、学生がもう使わなくなった教科書を回収して、それをほぼ半額で再販売し、収益を途上国の子どもたちの教育支援にあてるという取り組みを行っています。今では全国約 60 大学で展開していますが、2013 年 5 月時点では北海道には小樽商科大学にしかありませんでした。STUDY FOR TWO のことは本当に偶然知り、団体の副代表の方にお話を聞くことができました。北大にもあればいいのに、と素直に感じたのを覚えています。ここで、もし FSP に参加していなかった私だったら、「すごく良い活動ですね、頑張ってください、私にもできることがあれば協力はします。」で終わっていたと思います。しかし、FSP に参加したことで、何にでも挑戦してみようと意欲的になっていたこともあって、「あればいいのにと思った人が広げないのは、勿体ないのでは。」と思い、北大支部を立ち上げることにしました。今はもう引退していますが、STUDY FOR TWO をはじめたきっかけになっていたのは FSP だったと思います。一番入りたかったゼミに入れたと前述にあります、そのゼミの先生のことを知ったの

も、FSP がきっかけでした。というのも、その先生が経済学部の留学相談コンタクトパーソンだったので、交換留学の相談に伺ったことが最初だったのです。

FSP がきっかけで私の学生生活の中で変わったことはあげるときりがないくらいたくさんあって、今の自分があるのは本当に FSP に参加したからだと思います。FSP に参加していなければ交換留学という選択を一度も選ばなかっただろうし、STUDY FOR TWO もやっていなかったし、ゼミも今のゼミに入っているかわかりません。進路のことを真剣に考え始めたのも、自分が持っている価値観について深く分析するようになったのも、刺激のある場所に常に自分を置くようにしようと思ったのも、全部 FSP のおかげです。

おわりに

私が参加した第二回の FSP では、「セカンドステップ」として交換留学へ行くことを一つの目標にしていました。結局私は交換留学に行きませんでしたし、プログラムの良かったのかどうかはわかりません。しかし、本当に私にとって大きな転機となるプログラムであったことは確かですし、FSP に参加して私の学生生活は大きく変わりました。全ての北大生にとって FSP がそういうプログラムになりえるわけではないと思いますが、少しでも心惹かれた人は、説明会に参加してみしてほしいです。駄文でしたが、最後までお付き合いありがとうございました。

